令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)							
都 道 府 県 名 <sub>秋田県</sub> 市 区 町 村 名							
河 川 名 米代川水系檜山川(一級河川)							
	<u>担当課室名河川砂防課</u> 連絡先018-860-2514						
事業名		米代川水	《系檜山川緊急浚渫丼				
事業の内容 (施工場所(所在地))		代川水系檜山川の堆 県能代市鰄渕〜能代で		)。			
実施予定期間		令和2年度~令和	16年度(5年間)		土質区分		
	令和2年度		2, 000				
予定事業量	令和3年度		7, 000		泥土		
ア 左 デ 米 重 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		2, 500		※目視による見込		
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		6, 500		みであり、実際と は異なる可能性が		
(m2) 書きで記載	令和6年度	6, 500			ある。		
	計		24, 500				
		事業費	地方債	一般財源			
	令和2年度	6, 100	6, 100	0			
	令和3年度	26, 700	26, 700	0			
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	16, 400	16, 400	0			
	令和5年度	15, 400	15, 400	0			
	令和6年度	31, 000	31, 000	0			
	計	95, 600	95, 600	0			
	害は甚大である。	は能代市に位置し流足					
事業の必要性、 緊急性	・桧山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。						
		河道内の土砂堆積量( 維持管理が必要である		、早期の流下能力(	断面)確保に努める		
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ24.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。						
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)						
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活 用、維持管理等の改善策などの方針等について、 可能な範囲で記載		搬・処分等について! 密な情報共有によっ <sup>-</sup> (見込み)			<b>青報交換システム等</b>		

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)						
都 道 府 県 名 秋田県市 区 町 村 名 秋田県市 区 町 村 名 米代川水系大沢川(一級河川)						
事業名		米代川水	(系大沢川緊急浚渫丼			
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する米 浚渫予定箇所:秋田 【別図参照】	代川水系大沢川の堆 県藤里町大沢 地内	責土砂掘削を行うも <i>0</i>	),		
実施予定期間		令和2年度~令和	6年度(5年間)		土質区分	
	令和2年度		2, 000			
予定事業量	令和3年度		500		第4種建設発生土	
(各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		500		※目視による見込	
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		500		みであり、実際と は異なる可能性が	
(m2) 書きで記載	令和6年度	500			ある。	
	計		4, 000			
		事業費	地方債	一般財源		
	令和2年度	18, 400	18, 400	0		
	令和3年度	6, 200	6, 200	0		
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	3, 100	3, 100	0		
	令和5年度	3, 100	3, 100	0		
	令和6年度	3, 200	3, 200	0		
	計	34, 000	34, 000	0		
事業の必要性、 緊急性	・米代川水系大沢川は藤里町に位置し流路延長10.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・大沢川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は4.0千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。					
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4.0千m3の堆積土砂掘削を 行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。					
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)					
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活 用、維持管理等の改善策などの方針等について、 可能な範囲で記載	への登録等、より緊	搬・処分等についてし 密な情報共有によって 種建設発生土(見込る	て有効活用・コスト網		<b>青報交換システム等</b>	

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)								
都 道 府 県 名 <sub>秋田県</sub> 市 区 町 村 名								
	河 川 名 米代川水系藤琴川(一級河川)							
				<u> </u>	5 1 4			
事業名		米代川水	· :系藤琴川緊急浚渫抽					
事業の内容 (施工場所 (所在地))		代川水系藤琴川の堆 県藤里町矢坂〜秋田県		),				
実施予定期間		令和2年度~令和	6年度(5年間)		土質区分			
	令和2年度		4, 500					
予定事業量	令和3年度		3, 500		第4種建設発生土			
・ トレザス皇 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		3, 500		※目視による見込			
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		3, 500		※日倪による見込みであり、実際とは異なる可能性が			
(m2) 書きで記載	令和6年度	3, 500			ある。			
	計	18, 500						
		事業費	地方債	一般財源				
	令和2年度	14, 300	14, 300	0				
	令和3年度	24, 700	24, 700	0				
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	29, 800	29, 800	0				
	令和5年度	33, 900	33, 900	0				
	令和6年度	29, 000	29, 000	0				
	計	131, 700	131, 700	0				
事業の必要性、 緊急性	・米代川水系藤琴川は藤里町に位置し流路延長25.5km(指定区間)の一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・藤琴川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は18.5千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。							
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ18.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。							
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)							
その他	への登録等、より緊	搬・処分等について( 密な情報共有によっ <sup>っ</sup> 種建設発生土(見込る	て有効活用・コスト級		青報交換システム等			

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)								
都 道 府 県 名 <sub>秋田県</sub> 市 区 町 村 名								
	河 川 名 米代川水系内川(一級河川)							
				河川砂防課 018-860-2	5 1 4			
	1							
事業名			水系内川緊急浚渫推:	進事業 ———————				
事業の内容 (施工場所(所在地))		代川水系内川の堆積: 県能代市ニツ井町鬼ネ						
実施予定期間		令和3年度~令和	5年度(3年間)		土質区分			
	令和2年度							
予定事業量	令和3年度		1,000		第4種建設発生土			
アだ事末皇 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		500		※目視による見込			
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		500		みであり、実際と は異なる可能性が			
(m2) 書きで記載	令和6年度				ある。			
	計		2, 000					
		事業費	地方債	一般財源				
	令和2年度			0				
	令和3年度	10, 000	10, 000	0				
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	5, 100	5, 100	0				
	令和5年度	5, 100	5, 100	0				
	令和6年度			0				
	計	20, 200	20, 200	0				
	・米代川水系内川は 害は甚大である。	能代市に位置し流路を	延長15.0kmの一級	対河川であり、氾濫等	<b>手が発生し場合の被</b>			
事業の必要性、 緊急性	・内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。							
		河道内の土砂堆積量( 維持管理が必要である	は2.0干m3であり、 る。	早期の流下能力(圏	所面)確保に努める			
浚渫目標	・令和3年度~令和5年度の3年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ2.0千m3の堆積土砂掘削を 行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。							
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)							
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活 用、維持管理等の改善策などの方針等について、 可能な範囲で記載	への登録等、より緊		は、公共事業への再利 て有効活用・コスト縮 り)		<b>青報交換システム等</b>			

令和 5 年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)						
都 道 府 県 名 秋田県 市 区 町 村 名						
		米代川水	· 系種梅川緊急浚渫排	生進事業		
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する馬 浚渫予定箇所:秋田 【別図参照】	場目川水系糸流川の <sup>均</sup> 県能代市ニツ井町梅の	<b>佳積土砂掘削を行うも</b> 内 地内	oo.		
実施予定期間		令和5年度~令和	6年度(2年間)		土質区分	
	令和2年度					
予定事業量	令和3年度				泥土	
・ トレザス皇 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度				※目視による見込	
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		1, 200		みであり、実際と は異なる可能性が	
(m2) 書きで記載	令和6年度	800			ある。	
	計		2, 000			
		事業費	地方債	一般財源		
	令和2年度			0		
	令和3年度			0		
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度			0		
	令和5年度	14, 400	14, 400	0		
	令和6年度	9, 000	9, 000	0		
	計	23, 400	23, 400	0		
事業の必要性、 緊急性	・米代川水系種梅川は二ツ井町に位置し流路延長14.4kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・種梅川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は2.0千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。					
浚渫目標	・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ2. O千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。					
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)					
その他		搬・処分等について! 密な情報共有によっ <sup>-</sup> (見込み)			青報交換システム等	

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)							
都 道 府 県 名 <sub>秋田県</sub> 市 区 町 村 名							
河 川 名 その他水系塙川(二級河川)							
				河川砂防課 018-860-2	5 1 4		
<u> </u>		その他;	———— 水系塙川緊急浚渫推				
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理するそ 浚渫予定箇所:秋田 【別図参照】	の他水系塙川の堆積: 県八峰町塙 地内	上砂掘削を行うもの。				
実施予定期間		令和2年度~令和	6年度(5年間)		土質区分		
	令和2年度		3, 000				
予定事業量	令和3年度		1,000		泥土		
アた事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		1,000		** ※目視による見込		
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度	_	1, 200		みであり、実際と は異なる可能性が		
(m2) 書きで記載	令和6年度				ある。		
	計		7, 500				
		事業費	地方債	一般財源			
	令和2年度	6, 100	6, 100	0			
	令和3年度	6, 100	6, 100	0			
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	6, 200	6, 200	0			
	令和5年度	6, 200	6, 200	0			
	令和6年度	6, 000	6, 000	0			
	計	30, 600	30, 600	0			
事業の必要性、 緊急性	・その他水系塙川は八峰町に位置し流路延長 1 5 . 4 kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は基大である。 ・塙川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は7 . 5 千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。						
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ7. 5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。						
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)						
その他	への登録等、より緊	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等 への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分:泥土(見込み)					

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)								
都 道 府 県 名 <sub>秋田県</sub> 市 区 町 村 名								
	河 川 名 馬場目川水系三種川(二級河川)							
		<u>担 当 課 室 名河川砂防課</u> 連 格 先 0 1 8 - 8 6 0 - 2 5 1 4						
事業名		馬場目川	水系三種川緊急浚渫	推進事業				
事業の内容 (施工場所 (所在地))		場目川水系三種川の <sup>は</sup> 県三種町久米岡新田・		oo.				
実施予定期間		令和2年度~令和	6年度(5年間)		土質区分			
	令和2年度		2, 500					
予定事業量	令和3年度		2, 500		泥土			
ア <del>だず米</del> 重 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		8, 500		※目視による見込 みであり、実際と は異なる可能性が			
⟨→ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □ ・ □	令和5年度		2, 500					
(m2) 書きで記載	令和6年度		2, 500		ある。			
	計		18, 500					
		事業費	地方債	一般財源				
	令和2年度	44, 000	44, 000	0				
	令和3年度	52, 300	52, 300	0				
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	52, 300	52, 300	0				
	令和5年度	47, 300	47, 300	0				
	令和6年度	43, 000	43, 000	0				
	計	238, 900	238, 900	0				
事業の必要性、 緊急性	・馬場目川水系三種川は三種町に位置し流路延長52.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は基大である。 ・三種川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は18.5千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。							
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ18.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。							
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)							
その他	への登録等、より緊	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分:泥土(見込み)						

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)						
都 道 府 県 名 秋田県 市 区 町 村 名 秋田県 河 川 名 馬場目川水系鹿渡川(二級河川) 担 当 課 室 名 河川砂防課						
		-		018-860-2	5 1 4	
事業名		馬場目川	水系鹿渡川緊急浚渫	推進事業		
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する馬 浚渫予定箇所:秋田 【別図参照】	場目川水系鹿渡川の <sup>‡</sup> 県三種町鹿渡 地内	<b>椎積土砂掘削を行う</b> も	<b>。</b>	_	
実施予定期間		令和3年度~令和	6年度(4年間)		土質区分	
	令和2年度					
予定事業量	令和3年度		2,000		泥土	
「たずべ <u>重</u> (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		600		※目視による見込	
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		600		みであり、実際と は異なる可能性が	
(m2) 書きで記載	令和6年度		600		ある。	
	計	3, 800				
		事業費	地方債	一般財源		
	令和2年度			0		
	令和3年度	10, 200	10, 200	0		
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	6, 200	6, 200	0		
	令和5年度	6, 200	6, 200	0		
	令和6年度	6, 000	6, 000	0		
	計	28, 600	28, 600	0		
事業の必要性、 緊急性	・馬場目川水系鹿渡川は三種町に位置し流路延長3.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・鹿渡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は3.8千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。					
浚渫目標	・令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.8千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。					
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)					
その他		搬・処分等について  密な情報共有によっ <sup>っ</sup> (見込み)			青報交換システム等	

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)							
都 道 府 県 名 秋田県市 区 町 村 名							
事業名		馬場目川	水系糸流川緊急浚渫	 推進事業			
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する馬 浚渫予定箇所:秋田 【別図参照】	場目川水系糸流川の <sup>1</sup> 県三種町鹿渡 地内	推積土砂掘削を行うも も	ათ.			
実施予定期間		令和3年度~令和	6年度(4年間)		土質区分		
	令和2年度						
予定事業量	令和3年度		1, 000		泥土		
(各年度の浚渫土砂量) (単位:m3)	令和4年度		1, 000		※目視による見込		
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、	令和5年度		800		みであり、実際と は異なる可能性が		
(m2) 書きで記載	令和6年度	800			ある。		
	計		3, 600				
		事業費	地方債	一般財源			
	令和2年度			0			
	令和3年度	6, 100	6, 100	0			
予定事業費 (単位:千円)	令和4年度	6, 200	6, 200	0			
	令和5年度	9, 200	9, 200	0			
	令和6年度	5, 000	5, 000	0			
	計	26, 500	26, 500	0			
事業の必要性、 緊急性	・馬場目川水系糸流川は三種町に位置し流路延長2.9kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・糸流川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は3.6千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。						
浚渫目標	・令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.6千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。						
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量):観測頻度(通年) ・河川巡視:実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等:実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)						
その他		搬・処分等について! 密な情報共有によっ <sup>~</sup> (見込み)					